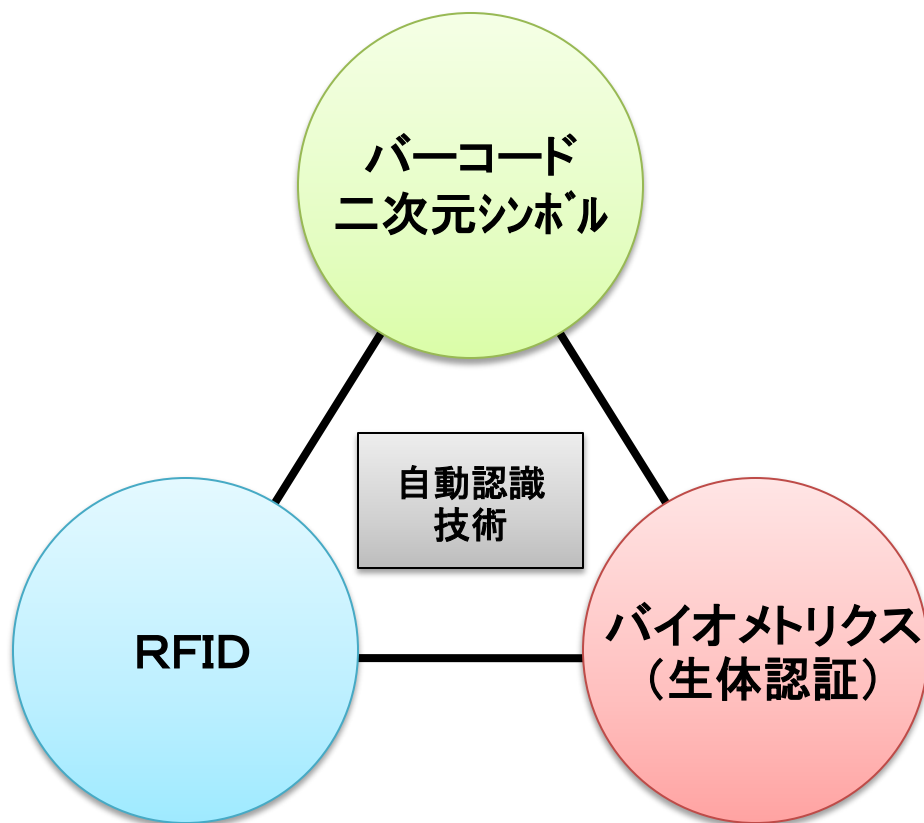


自動認識技術者資格 総合案内

2011年

社会インフラとして様々な分野で活躍し、
今後もさらなる発展が期待されている
「自動認識技術」の資格試験



自動認識とは…人間を介さずに、ハード・ソフトを含む機器によって、
自動的に情報を取り込み、内容を認識すること

一般社団法人日本自動認識システム協会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7階

TEL.03-5825-6651 (お問い合わせ時間 平日9:00~17:00)

E-mail: license@jaisa.or.jp (技術者資格認定試験事務局)

詳細は当協会webサイトへ！

<http://www.jaisa.jp/license/index.html>



自動認識技術は生産性向上、業務効率化、省力化、省資源化、低コスト化に役立つ技術として、生産分野、物流分野、卸・小売分野、セキュリティ分野等の幅広い分野で活用され、社会インフラの一部として私たちの暮らしを支えております。

本資格認定登録制度は、自動認識業界で求められている技術者の育成・増加を支援するために、当協会が資格の認定登録を行うものです。

あらゆる分野で活躍する自動認識技術の一例

生産分野

工程管理、実績管理、部材管理、機材管理、トレーサビリティ

物流分野

入出荷検品、棚卸、在庫管理、トレーサビリティ

卸・小売 分野

入出荷検品、棚卸、在庫管理、販売管理

セキュリティ 分野

入退場管理、本人確認

サービス・ 公共分野

来場者管理、即時決済(電子マネー)、物品管理

医療・福祉 分野

本人確認、情報管理

2011年開催計画概要

基本技術者資格 認定講習・試験

	第16回基本技術者資格 認定講習・試験(東京)	第17回基本技術者資格 認定講習・試験(東京)	第18回基本技術者資格 認定講習・試験(東京)
日程	6月10日(金)・11日(土)	9月9日(金)・10日(土)	11月18日(金)・19日(土) <small>会場の状況によっては日程が変更となる可能性があります。</small>
場所	早稲田大学理工学部 西早稲田キャンパス	早稲田大学理工学部 西早稲田キャンパス	早稲田大学理工学部 西早稲田キャンパス
時間(※予定)	1日目:【講習】9:00~17:00 2日目:【講習】9:00~15:00 【試験】15:30~17:00		
募集人数	80名	80名	80名
受験対象者	<p>新入社員・中堅社員・学生・一般社会人など、自動認識技術に関する基本的な知識の修得を目指す方</p> <p><具体的に、こんな方にお勧め！></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自動認識業界への就職を目指す学生 ■ 新入社員、中堅社員等の基礎研修や自己啓発(主に営業部門・管理部門の方) ■ 専門技術者資格取得を目指す方の研修や自己啓発(主に技術部門・開発部門の方) 		
受講・受験料	<ul style="list-style-type: none"> ①当協会会員企業に所属されている方 30,000円 ②非会員企業に所属されている方 50,000円 ③学生の方 30,000円 ④講習を受講せずに試験のみ受験される方 10,000円 		
出題範囲	<p>バーコード、RFID、バイオメトリクスなど自動認識技術に関する基礎知識</p> <p><バーコード></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ バーコードとは、1次元シンボル、2次元シンボル、バーコードリーダ、バーコードプリンタ、規格/用語、印刷品質・検証器、電子ペーパー、モバイル二次元シンボル、応用事例、ダイレクトマーケティング <p><RFID></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ RFIDとは、RFIDの基礎用語、RFIDの原理と特徴、RFタグ、リーダ・ライタ、電波法とその他の法規・規格、使用上の留意点と活用法、国際標準化動向、アプリケーションの標準化動向、応用事例 <p><バイオメトリクス></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ バイオメトリクスとは、バイオメトリック技術、バイオメトリック認証モデル、データ及びプログラムインタフェース、認証精度とその測定方法、標準化の動向、プライバシーとバイオメトリクス、応用事例 		
回答形式	多岐選択式(4択)		
使用するテキスト	<p>書籍「よくわかるバーコード・二次元シンボル」・「よくわかるRFID ~電子タグの全て~」・「よくわかるバイオメトリクスの基礎」の3冊をテキストとして使用。</p> <p>いずれも編集:(社)日本自動認識システム協会、発行:(株)オーム社</p> <p>なお、上記書籍代金は受講料に含まれます。その他の配布資料は当協会でご用意致します。</p> <p>(※講習を受験せずに試験のみ受験される方は、お手数ですがご自身でご用意下さい)</p>		
募集開始日(※予定)	4月25日	7月22日	9月30日
募集締切日(※予定)	5月27日	8月26日	11月4日

(※予定)と記載されている箇所は変更になることもありますので、予めご了承下さい。

専門技術者資格 認定講習・試験

	第6回RFID専門技術者資格 認定講習・試験(東京)
日程(※予定)	12月頃の開催を検討しております。決定次第お知らせ致します。
場所(※予定)	一般社団法人日本自動認識システム協会
時間(※予定)	【講習】9:00～17:00 【試験】14:00～15:30
募集人数	40名
受験対象者	自動認識技術者資格の認定登録を受けている方で、RFIDについて、より専門的な知識の修得を目指す方(※基本技術者資格の修得が前提です) <具体的にこんな方にお勧め！> <ul style="list-style-type: none"> ■ RFID技術に専門に携わる方の研修、自己啓発 ■ 自動認識技術を用いたシステム構築を目指す方の研修、自己啓発 ■ RFID技術を極めたい方の自己啓発
受講・受験料	<ul style="list-style-type: none"> ①当協会会員企業に所属されている方 40,000円 ②非会員企業に所属されている方 60,000円 ③前回の当試験を受験されたことがある方で、講習を受講せずに試験のみ受験を希望する方(1回のみ) 20,000円
出題範囲	RFIDに関する高度な知識および応用知識 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本技術(無線通信技術、リーダ/ライタ技術、タグ/ICチップ) ■ 詳細技術(135KHz未満、13.56MHz、433MHz、860～960MHz、2.45GHz、等) ■ 関連法規、規制(電波法、ARIB規格、電波防護、医療機器への影響) ■ 運用上の配慮点(プライバシー、セキュリティ、タグの廃棄) ■ アプリケーションインタフェース ■ ハンディターミナル ■ アプリケーションの国際規格 ■ 応用事例、その他
回答形式	多岐選択式・記述式(計算問題含む)
使用するテキスト	テキストは当協会でご用意致します(非売品のテキストを使用) ※ただし、講習会で参考にする書籍「よくわかるRFID」(編集:(社)日本自動認識システム協会、発行:(株)オーム社)は受講者各位でご用意下さい。
募集開始日(※予定)	検討中です
募集締切日(※予定)	検討中です

(※予定)と記載されている箇所は変更になることもありますので、予めご了承下さい。

受験者の声

営業活動を行う上で、必要な知識として役立っております

自動認識専門技術者資格は、専門の方からかなり充実した講習を受けることができたため、勉強になりました。他の資料を見てわからない点があったとき、講習会のテキストを見直すことで、時折活用しています。

多くのお客様はバーコードやRFIDを使いたいのではなく、作業の効率化や確実な記録の取得を実現したいというご要望なので、自動認識技術をはじめ、セキュリティや工程管理、配送など多くの知識や技術が必要です。RFIDについては、社内で技術担当の者に尋ねればわかりますが、バーコードは弊社では主には取り扱っていないため、なかなか尋ねることができません。しかし、RFIDのバックアップ等でバーコードとRFIDを併用した提案も増えていますので、2つの資格をこれからも活用していきます。

日本信号株式会社 石井 泉 様

自身の業務経験に偏らず、幅広い知識の修得ができました

まず、専門技術者資格の講習・試験を受けたことが、自分自身の“知識の棚卸”として、とても有意義でした。自動認識業界に身を置いて約10年になりますが、業務を通じて得た知識というのは、どうしても偏りがちです。講習・試験によって、自身の得意分野とそうでない部分と、客観的に知ることができました。

また、RFIDについては、当社は新規参入となるのですが、スタート地点で網羅的に知識修得できたので、視野を広く持って企画開発にあたることができています。

内外から相談を受ける機会も増えています。特に対外的には、単なる“詳しい人”と“有資格者”とでは大きな違いがあると感じています。今後は、“専門”の名に恥じぬよう研鑽に努めると共に、知識だけではなく、実務経験に根ざした情報を提供していきたいと考えています。

日栄インテック株式会社 小野 史生 様

名刺に資格を印刷したところ、お客様の対応が好意的に変わりました

バーコード専門技術者を66歳、RFID専門技術者を67歳で受験し、合格しました。私は生命保険会社出身で、ソフト業界では営業専門です。新しい技術開発は若者にお願いしますが、その応用は年長者が向いているのではないかと、また、世界同時進行の「CSR(サステナビリティ)」「事業継続推進」「セキュリティ」などは自動認識技術が不可欠になると考えます。上記、2つの資格受験と併行して、医療情報、防災、防犯などの、近未来に自動認識応用分野となると想定する業務関係資格も取りました。

資格が目的ではなく、資格取得がスタートと考えます。お客様の業務の将来を見据えて、生産性向上の第一歩としての採用をお勧めし、自動認識技術の採用がコストダウンになる提案を始めています。自動認識技術+インターネット技術により、新しいソフトビジネスが創出されると想定します。RFIDの現状は、インターネットの黎明期とよく似ています(12年前ソフト業界ではインターネットの地位は低かった)。

現在、ソフト業界のJAISA会員は少なく、ソフト業界からの受験者も多くはないようです。自動認識技術の普及はお客様の接点に立つソフト業界への浸透が不可欠と考えます。私の場合、名刺に資格を刷り込むことで、お客様の対応が大変好意的に変わりました。厳しいIT業界の営業で、自動認識の資格はお客様への接近に大変有効です。ソフト業界(営業、開発、年齢!問わず)の方々への受験を、お勧めいたします。

有限会社アールアイティ 大和 幸男 様

資格取得が自信につながり、お客様からの信頼も得やすくなりました

事前の講習会では、RFID全般や無線通信などの基礎技術からアンチコリジョンの方法や規格ごとのRFIDプロトコルなど、普段なかなか勉強することが難しい内容を説明頂き、資格試験の受験を通じて、深い技術と幅広い知識の習得と整理ができました。

RFIDの活用は多彩であり、使用するメリットも課題もお客様ごとに、また、適用するシステムごとに異なります。良いことだけでなく課題を早い段階から説明して共有し、双方で解決していくことがお客様に満足頂けるシステム提供の基本であると考えます。資格取得により、自信をもってこの対応ができるようになったと思います。また、資格取得後は、名刺に「JAISA RFID専門技術者」を記載し、初対面の方からもRFIDの専門家として信頼を得やすくなりました。

RFIDはこれからもどんどん発展し、成長していきます。今後も継続して技術面、応用面など情報の収集に努め、また、経験を生かしてお客様にあったよりよいシステムの提案活動などを行っていききたいと思います。

東芝テック株式会社 飯田 雄二 様

企業・主催団体の声

幅広い提案力を身につけられるよう、社員に受験を勧めております

営業活動においては、自社製品に関する知識をもっているだけでなく、お客様の課題を解決するための提案力を身につけることが重要ですが、その提案を既知の技術・知識だけで十分なものとするのは難しい事が多く、他の技術と組み合わせる事でより御客様にとっては使い勝手が良く、かつリーズナブルなソリューションを提供できる可能性が出てきます。

弊社では、営業担当を中心に資格認定試験を受験していますが、合格者からは、自分の担当製品以外の知識も広く習得でき、お客様への提案の幅を広げられるようになったと聞いています。また、カリキュラムは、営業担当だけでなく、技術担当にとっても役に立つ内容であり、自動認識技術に関する、より広範な知識・技術を勉強することが、お客様のご要望に合致した製品を開発する上でも役立つと考え、部門を問わず、社員の積極的な受験を支援しております。

株式会社デンソーウェーブ 日比 二郎 様

自動認識技術は社会のニーズです

年々高速化、複雑化するユーザーニーズに応えるため、営業は自社製品のみならず、幅広い自動認識技術の知識が求められています。単に取引先からのニーズに留まらず、社会全体が自動認識技術に期待を寄せているともいえます。

本資格認定制度は最新技術修得の絶好の場であるとともに、世界へ目を広げられること、現在の自分のレベルの確認の場でもあります。

また資格認定制度は教育の一環として捉えることが出来ます。弊社では営業職に限らず、開発部門、システム部門、内勤を含む事務職部門など、全社員への受験を今後強く推奨して参ります。

株式会社サトー 河井 一則 様

自動認識業界の更なる発展をご支援致します

バーコードやRFID、バイオメトリクスに代表される自動認識技術は、生産分野や物流分野、サービス・公共分野および医療・福祉分野、最近ではコンシューマ向けサービスにまで広がり、今や現代社会のインフラとして浸透しております。

日本自動認識システム協会では、自動認識技術の普及啓発および業界の今後の更なる発展のために、技術者の育成・増加を支援するものとして、本資格認定登録制度を平成16年10月にスタート致しました。

以降平成22年12月現在まで、累計861名の基本技術者資格認定登録者、20名のバーコード専門技術者資格認定登録者、101名のRFID専門技術者資格認定登録者を輩出しております。

開始当初は当協会の会員企業に所属される方の受験がほとんどでしたが、普及啓発活動の成果が徐々に広がり、近年では非会員企業に所属される方の受験の割合が増えてまいりました。

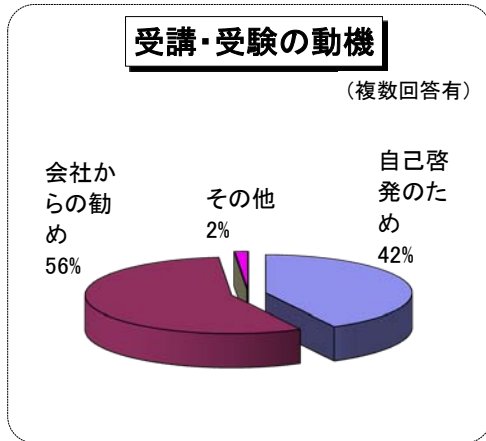
また、資格認定登録者に対するアフターフォローとしまして、最新の技術・標準化動向等をお知らせする有料の講習会を随時開催させていただいております。

企業の皆様におかれましては社員研修の手段として、また自己啓発の手段として、本資格認定登録制度のご活用を是非ともお勧めします。

一般社団法人 日本自動認識システム協会 専務理事 高田 敏雄

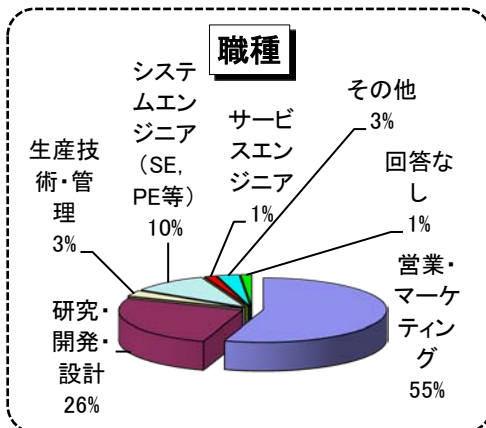
アンケート結果

受験の動機は何ですか？



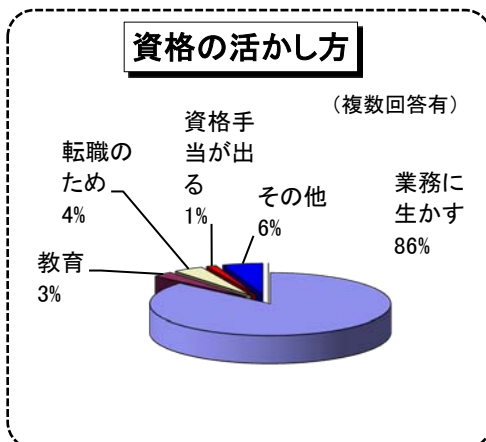
多くの方が、上司や先輩等、社内の勧めによって受験されていることから、多くの企業の社員研修に活用されております。一方で、自己啓発の手段として受験される方も少なくありません。

あなたの職種は何ですか？



研究開発や設計など技術系の方は、実務経験に偏らない知識・技術の向上のために本資格を活用されております。また、営業系の方は、基本知識の修得のために本資格を活用されております。

合格後の資格の活かし方について教えてください



実務に活かしたいという方が大半です。中には、部下や後輩の教育に役立てたいという方もいらっしゃいます。

よくあるご質問と回答

Q1. 私は非会員企業所属者(しかも自分の担当業務は、一部の自動認識技術にしか関連がない)ですが、会員企業所属者に比べて受講・受験する上でのデメリットはあるのでしょうか？

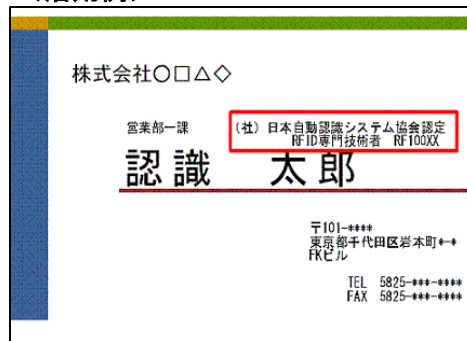
A1. 実務経験の長短や有無は、講習の理解度に多少の影響はあるかもしれませんが。しかし当協会の調査によれば、基本技術者資格試験では会員企業所属者と非会員企業所属者との平均点に大きな乖離はありませんでした。

Q2. 自動認識技術者資格を取得することで得られるメリットは何でしょうか？

A2. 当協会の資格は残念ながら公的資格ではなく、いわゆる業界資格(民間資格)です。現状では履歴書に記載ができるほど世間に権威が認められてはおりませんが、自動認識業界においては、知名度・権威が高まってきている資格であると自負しております。資格を取得することで得られるメリットについては、企業や資格取得者によって様々ですので、一概には申し上げられません。

ご参考のために一例を挙げますと、資格取得者の中には自分が自動認識技術に関する有識者であることをアピールし、お客様に安心感を与えるために、名刺に資格名と認定登録番号を表記して活用されている方もいらっしゃいます。また企業によっては、資格取得が社内評価の向上につながっているところもあるようです。

<活用例>



Q3. 試験合格の秘訣について教えてください。

A3. 毎回様々な年齢層・職種の方が受験されておりますので一概には言えないのですが、事前にテキストをよく読んでいらっしゃる方の合格率は高いように思います。基本技術者資格に関しては、事務局の推測で恐縮ですが、忙しい日常業務の合間を縫って、テキストを熟読するための時間をいかに工夫して作り出すことが出来るかどうかが、合格の秘訣なのではないかという気がしております。

基本技術者/専門技術者 選択の目安

自動認識
基本技術者資格

自動認識
専門技術者資格

新入社員

自動認識
技術初心者

基本技術者
資格保有者

技術・開発
関係者

学生・一般
社会人

若手社員・中堅社員

管理役職者

営業部門担当者

技術部門担当者

管理部門担当者

開発部門担当者

テキスト・参考書籍（基本技術者資格）

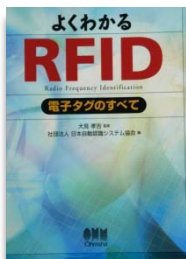
※下記3冊は受験料に含まれておりますが、ご希望により
受験者ご本人でご用意いただくことも可能です。

よくわかるバーコード・二次元シンボル



- 第1章 バーコードとは
- 第2章 一次元シンボル
- 第3章 二次元シンボル
- 第4章 バーコードプリンタ
- 第5章 バーコードリーダ
- 第6章 印刷品質・検証器
- 第7章 ダイレクトマーキング
- 第8章 電子ペーパー
- 第9章 モバイル二次元シンボル
- 第10章 応用事例

よくわかるRFID



- 第1章 RFIDとは
- 第2章 RFIDの基礎用語
- 第3章 RFIDの原理と特徴
- 第4章 RFタグ
- 第5章 リーダ・ライタ
- 第6章 電波法とその他の法規・規格
- 第7章 使用上の留意点と活用法
- 第8章 RFID国際標準化の動向
- 第9章 RFIDのアプリケーションの標準化動向
- 第10章 RFIDの応用例

よくわかるバイオメトリクスの基礎



- 第1章 バイオメトリック技術と本人認証
- 第2章 バイオメトリック技術
- 第3章 バイオメトリック認証モデル
- 第4章 データおよびプログラムインタフェース
- 第5章 認証精度とその測定方法
- 第6章 バイオメトリック技術の標準化の動向
- 第7章 プライバシーとバイオメトリクス
- 第8章 新しい技術の開発
- 第9章 応用事例
- 第10章 市場の動向
- 第11章 用語および関係サイト

いずれもオーム社/雑誌局 発行 社団法人日本自動認識システム協会 編
各定価(本体2500円【税別】)

ネット注文

<http://www.jaisa.jp/bookshop/index.html>
(※送料有料)

申込手順

お申込方法は、当協会ホームページでのweb申込のみです。
まずは資格試験トップページ <http://www.jaisa.jp/license/index.html>へアクセスして下さい。

1 仮受付

受験者ご本人がweb申込(専用フォームへの入力)を行って下さい。お申込後、受験者へ受験料の払込方法などをお知らせするメールが届きます。

(※この段階では、まだ仮受付の状態です。受験料の入金を当協会が確認できた時点で正式受付となります)

2 受験料払込

当協会指定の銀行口座へ受験料をお振込下さい。ご入金確認後、教材他資料を送付致します。

3 受験票到着・準備

資料が到着しましたら、当日までに受験票に添付する顔写真をご用意下さい。また、送付資料「受験の心得」をよく読み、受験の準備を整えておいて下さい。

ご記入いただきました個人情報は、当協会の資格認定講習・試験の実施に必要な範囲で使用されます。当協会が申込者から収集した個人情報を申込者本人の同意なしに第三者に開示することは、当該講習・試験の目的遂行に必要な業務を請け負うデータ管理事業者以外には、原則としてありません。ただし、以下に該当する場合は、申込者本人の同意に関係なく情報を当該第三者に開示することがあります。

- 1.法令に基づき、警察、裁判所等の国や地方の諸機関より個人情報の開示が求められた場合
 - 2.当協会の権利や財産を保護するために開示が必要な場合
 - 3.その他申込者本人が第三者に不利益を及ぼす等、開示するにつき正当な理由がある場合
- また、当協会の会報配布やイベントの開催案内のため、利用することがあります。